

## 錦繡の北斗紅葉回廊を行く

10月の下旬、八郎沼公園をのんびりと散策。散策路にはミズナラやブナの枯れ葉やクマのえさとなるどんぐりも落ちていた。公園の入口の受付でいただいたチラシにはライトアップ



について「極彩色の映し鏡は夢現」というキャッチコピーがあり、夢現(ゆめうつつ)かどうかを確かめたくなり、日没後に再び八郎沼公園を訪ねることに。観光協会のチラシに誤りはありませんでした。本当に素晴らしい光景で、一見の価値がありました。水面に映し出された上下対称の光景。写真でも捉えられない夢か幻の素敵な光景が広がっていたのでした。

### 研修会報告

### デジタル技術を活用した防災のすすめ

令和4年10月11日(火)午後1時から北斗市総合文化センター中会議室において、秋の研修会が2部構成で開催されました。初めは防災連絡会議の会員で(有)ピーシーエス代表取締役の白石勝士さんが”防災DXってなんだ”～ネット社会の防災～というタイトルでお話をされました。

白石さんは、今日の”ネット社会”において防災にデジタル技術をこれまで以上に積極的に取り入れなければならないとして、防災DXを実践するために日頃の情報交換や広報にLINE、Twitter、Facebookが連絡手段として広く使われてきていることを、2011年の「東日本大震災の奇跡の情報リレー」や2018年の西日本豪雨「#救助要請」を例に解説されました。今日、パソコンやスマホは誰でも利用しています。キーを1つ押すだけで、情報を相手に伝えたり、逆に情報を得られることはわかっています。しかし、LINE、Twitter、Facebookの連絡手段をうまく利用できていないという人は、私を含めて多くの人が感じていると思います。私自身、勉強不足と思いながらまだまだ基礎から教授願わねばならないと痛感した秋の研修会でした。



高橋 悦郎

### 防災士としての今後の活動について

北海道上磯高等学校教諭・北海道防災士会幹事の伊藤友彦です。昨年4月の赴任から防災学習に取り組み、北斗市および北斗市防災連絡会議の皆様には大変お世話になっています。

今回は北海道防災士会幹事として記事の投稿をさせていただきます。近年、時間降水量の記録を更新するような雨が各地で降り、道南もその例に漏れず8月に大雨がありました。道防災士会でもこの大雨についてのアンケート調査を実施したところですが、防災・減災を

進める上で重要なことの一つに「災害伝承」があります。数字・文字上の公式記録ではなく、そこに生活している方々からの体験談、記憶は時間とともに失われていきます。防災士としてこれらを記録として残し、防災教育に活用するためのネットワークづくりをはじめました。まだ資料収集をはじめたばかりの取り組みですが、今後、北斗市防災連絡会議のみなさんにもご協力をお願いしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\*

☆ うれしいNEWS ☆☆☆

貝崎功作さんと伊藤友彦さんの 2 名の方が防災連絡会議に加入していただきました。今後ともよろしくお願いいたします。貝崎功作さんは上坂勝さんと同じ昭和町自治会です。

＜本の紹介＞ 復興を生きる ～東日本大震災被災地からの声～ (岩波書店)

日本を震撼させた東日本大震災。宮城県南三陸町の防災対策庁舎での悲劇、生き残った町職員の証言に基づき、時系列で追った「ドキュメント防災庁舎」では津波の本当の恐ろしさが伝わってくる。新たな津波想定に基づいて建設された高さ 12m の防災対策庁舎。あの日、この庁舎を 15.5m の津波が飲み込んだのである。

自治体の復興への取り組みの指針となったのは、閣議決定により設置された復興構想会議の提言や県独自の計画案などであり、人口減少が進行する中での震災からの復興という課題が重くのしかかる。これは災害が起きればどの地域も抱えることになる共通の課題であり、読者に投げかけられた大きなテーマであると思う。

卯年は「飛躍する」年、 エネルギーの地産地消で脱炭素へ！

京都議定書の採択（1997 年）から 25 年目に当たる今年の 11 月、エジプトで COP27 が開催。この会議について、新聞の報道によると「気象災害で「損失と被害」を受けた途上国を支援する基金の創設が決まり、これが最大の成果となった。一方で、温室効果ガスの排出削減目標は合意に至らなかった。」とある。新型コロナウイルス禍、ロシアのウクライナ侵略に振り回されただめだろうか。パキスタンでの大規模の水害など、異常気象の影響は深刻な状況にあり、先進国や温室効果ガスの排出量の多い中国などの責任は重い。脱炭素をいかに進めるか、また、原発問題をどう解決するかなどの大きな課題がある。地域の防災を考えるとともに、こうした地球規模の課題や地域の課題についても問題意識を持ち続けながら活動をしていきたいと思う。

\*\*\*\*\*

コロナ禍の中、会員の皆様方のご協力により、次年度に繋がる活動を展開できたかなと思っています。令和 5 年度も健康第一で元気いっぱい新しい活動へ挑戦していきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。少し早いのですが、良いお年をお迎えください。平和な兎年でありますようにお祈り申し上げます。（感謝）



事務局 北斗市総務部総務課交通防災係

電話 73-3111 (内線 212)

メール bosai@city.hokuto.hokkaido.jp